

WEEKLY SIGNAL

平成28年10月21日(金) 1346号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

| | 10/24(月) | 10/25(火) | 10/26(水) | 10/27(木) | 10/28(金) |
|--------|--|--|--------------|--|--|
| 無担保O/N | △0.086% ~ 0.001% | | | | |
| 銀行券 | △300 | ト ン | △1,000 | △1,000 | △2,000 |
| 財政他 | △9,000 | +3,000 | +2,000 | △13,000 | ト ン |
| 資金需給 | 不9,300 | 余3,000 | 余1,000 | 不14,000 | 不2,000 |
| 主な要因 | 国庫短期証券発行・償還(3M) | | | 国債発行(20年) | 交付税特会借入・償還 |
| オペ期日 | 共通担保(全店) △2,000 CP等買入 △600 国債補充供給 +300 | | | | |
| オペスタート | 共通担保(全店) +1,800 CP等買入 +3,500 | 国債買入 +5,100 短国買入 +25,000 | | | |
| (日本) | 金融システムレポート(10月号) 貿易統計(9月) 日銀営業毎旬報告 (10月20日現在) | 月例経済報告関係閣僚会議 | | | 消費者物価指数(全国9月、東京都区部10月) 完全失業率(9月) 家計調査(9月) 基調的なインフレ率を捕捉するための指標(速報) |
| (海外) | 米 NY連銀総裁講演 米 セントルイス連銀総裁講演 米 ハウエルFRB理事講演 | 米 S&P・コアロジック/ケース・シラー住宅価格指数(8月) 米 消費者信頼感指数(10月) 独 ドラギ ECB総裁講演(ベルリン) | 米 新築住宅販売(9月) | 米 週間新規失業保険申請件数(22日終了週) 米 中古住宅販売成約指数(9月) | 米 雇用コスト指数(7-9月) 米 7-9月GDP(速報) 米 ミシガン大学消費者マインド指数(10月) 欧 ユーロ圏景況感指数(10月) |

【インターバンク市場】

| 無担保ターム物 | 予想レンジ |
|---------|---------------|
| SPOT 1M | △0.05 ~ 0.001 |
| SPOT 2M | △0.05 ~ 0.001 |
| SPOT 3M | △0.06 ~ 0.001 |
| SPOT 6M | △0.06 ~ 0.001 |

<インターバンク>

今週の日銀当座預金残高は、週初314兆円台から始まり、週中には国庫短期証券発行日に312兆円台まで減少したものの、その後は日銀オペ等で増加し、週末には314兆1,200億円となった。無担保コールON物は、20日の市場レベルBCP・3市場合同訓練の一環として行われた取引を除くと、概ね▲0.07~▲0.03%で取引された。同加重平均金利は、新積み期に入ったこともあり、週初は▲0.048~▲0.041%で推移した。その後は、BCP訓練実施日及び週末となる21日に▲0.035%まで上昇した。ターム物は1~2W物が▲0.035~▲0.025%で取引された。18日に本年7月29日の金融政策決定会合で新設された米ドル資金供給用担保国債供給が初めて実施され、応札額2億円・全取レート▲0.10%となった。17日に公表された日銀地域経済報告では全9地域のうち、東海の景気情勢判断を個人消費の一部に弱めの動きがみられるとして、前回判断(7月)から引き下げ、熊本地震の影響が和らいだとして中国、九州・沖縄の景気情勢判断を引き上げた。その他6地域は、変化がなかった。来週の材料は国内では金融システムレポート(24日)、9月消費者物価指数(28日)があり、海外では、米7-9月GDP(28日)がある。

【オープン市場】

| | |
|------------|-----------------|
| CP3M(a-1+) | 0.000 ~ 0.005 |
| TDB 3M | △0.300 ~ △0.200 |
| 現先(on/1w) | △0.100 ~ 0.000 |

<CP>

今週の入札発行額は約7,900億円で、期落ち額約3,200億円(金融機関・ABCP除く)を大きく上回った。期明けで鉄鋼や石油、カードと幅広い業種の大型案件が見られた。a-1格相当銘柄の3M物入札発行レートは、0.0010%割れで推移した。現先レートの中心は、-0.100%~0.000%程度で推移した。

<TDB>

20日に国庫短期証券3M第641回債の入札が行われたが、最高落札レートは△0.2493%(前回債△0.2735%)、平均落札レートは△0.2545%(同△0.2925%)と前回債と比べて利回りは上昇した。セカンダリーは3Mで△0.30%近辺の地合いとなっている。6Mは目立った出合は見られず、1Yは△0.335%近辺の地合いとなっている。来週27日に3Mの入札が予定されている。

<レポ>

足許GCは週初△0.09%近辺の出合い。短国の発行日である20日受渡、24日受渡共にレート上昇は小幅にとどまり、概ね△0.08%台で取引された。週末には短国・国債買入オペが合計3兆500億円オファーされ、△0.09%台に低下し越週した。SC取引では10年344回債が週を通してbidが多く、週末には△0.10%台半ばの出合いが見られた。その他2年367・368・369回債、5年124・127・128・129回債、10年323・329・330・332・338・340・341・342・343回債、20年158回債、30年52回債、40年9回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。